

## 明日は別の日にしてほしい

本日、市教育委員会から、6月26日（金）27日（土）に開催予定だった「明石市総合体育大会」も中止を決定したという連絡があり、市教委からの文書と「学校だより第59号」でお知らせしました。中止のニュースを聞いた生徒の皆さんは大変ショックを受け、落ち込んでいる3年生は多いのではないかと沈痛の思いでいます。

東播及び明石市中学校体育連盟とも、3年生にとっては、県総体等が中止となる中で、何とか開催できないか検討を続けて頂いていたのですが、

○学校再開後に十分な練習時間を確保することが困難な状況であること

○けがや熱中症等の発生が危惧されること 等

の課題解消は難しいということに加え、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、県教育委員会から7月9日までの公式戦開催自粛要請もあり、苦渋の決断を下したとの報告を受けました。

しかし、明石市においては、何とか3年生の今までの努力の成果を発揮する場を設定できないかということ中で、市総体の代替大会が開催されることになりました。今後、詳しい内容が決まりましたらお知らせします。いずれにしてもモチベーションの維持が難しいと思いますが、まずは、運動不足及び自粛生活でのストレス解消を図り、少しずつ体力・技術力を回復させて代替大会に臨んでほしいと願っています。

昨年度、2・3年生に紹介しました、本校卒業生の明石商業高等学校3年生古林 愛理さんに、厳しい状況にある在校生の皆さんへということでメッセージを頂きました。

古林さんは、本校陸上競技部時代は中距離選手だったようですが、県総体以上の大会等の出場経験はありませんでした。高校に入ってから才能を開花させ、昨年度、高校2年生でありながら、「全国高校総体女子棒高跳び」において、大会タイ記録で優勝し「高校日本一」になられました。本年度は高校総体2連覇及び大会・高校新記録を目指し練習に励んでおられましたが、みなさんと同じように、高校生もすべての大会が中止となり、目標実現はできなくなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、総体もなくなり部活動もできない日々が続いていると思います。私も、高校生活最後の総体がなくなり、インターハイ連覇の目標を実現できなくなりました。とても悔しいですが、「日本高校記録更新・日本選手権優勝」という目標がありますから、気持ちが落ちることもなく、前向きにその目標に向かって日々自宅で練習しました。

特に、中学3年生の皆さんは総体が引退試合だった人も多いので、辛く悔しいと思います。ですが、この試合がなくなってしまった期間をプラスに考えることが大事だと思います。新たな目標を決め、その目標に向けて今何をやるべきかを考え、行動することが大事だと思います。人一倍努力をし、その努力を続けた人は必ず結果がついてきます。

この期間は自分のやるべきことを見つけて行動し続けた人は必ずこれから先に繋がります。今目標を見失った人。今を新たなスタートとして高校や将来、自分の理想の姿を想像して一緒に頑張っていきましょう。

とても前向きな素晴らしいメッセージ頂きました。多くの有名なアスリートの方々が、高校総体や高校野球の甲子園大会の中止にあたってメッセージを出されていましたが、みんなにとっては身近な、しかも同じ立場にある先輩から直接3年生の皆さんへのメッセージです。心に届けばと願っています。

最後に、高校野球の夏の甲子園大会の中止に対してのコメントから生徒の皆さんに言葉を送りたいと思います。

**泣けばいいし、悔しがればいい。しかし今日だけだ。明日は別の日にしてほしい。**

（奥田英朗さん寄稿文より引用）